

**障害者総合福祉法（仮称）骨格提言素案  
（平成23年8月9日追加提案）**

●	はじめに	1
	I. 総合福祉法（仮称）の骨格提言	
●	1. 法の理念、目的、範囲	5
7/26	2. 障害（者）の範囲	
7/26	3. 選択と決定（支給決定）	
7/26	4. 相談支援	
7/26	5. 権利擁護	
7/26	6. 支援（サービス）体系	
7/26	7. 利用者負担	
7/26	8. 報酬と人材確保	
7/26	9. 地域生活の資源整備	
7/26	10. 地域移行	
	II. 新法制定と実現への道程	
●	1. 旧法から自立支援法の事業体系への移行について	15
●	2. 障害者総合福祉法と基金事業について	16
●	3. 新法準備に当たってのその他の課題	18
	4. 財政のあり方	
●	（1）障害福祉への支出をOECDの平均水準以上に	21
◎	（2）個別ニーズ評価自治体の財政分析結果	
●	（3）長時間介護などの地域生活支援のための財源措置	22
	III. 関連する他の法律や分野との関係	
●	1. 医療	25
●	2. 障害児	31
●	3. 労働と雇用	37
●	4. その他	43
●	おわりに	47
◎	資料（委員名簿等）	

● ～ 今回（第17回総合福祉部会にて）提案している項目

◎ ～ 現在、検討中の項目

7/26～ 7月26日の第16回総合福祉部会にて提案済の項目

